



「一緒に暮らす」だけじゃない！親子の『絆』を深める住まいづくりとは？

独立して今は離れて暮らしているけれど、いつかは同居しなくちゃ……。そう考える「オヤノコト」世代も多いはず。しかし、親子の絆を深め、かつ、お互いに快適に暮らすには、決して「同居」という形式だけが正解ではありません。現代の親子関係とその住まいの関係を三井のリフォーム 住生活研究所の西田恭子所長にお伺いしました。

お話を伺ったのは



三井のリフォーム 住生活研究所 所長 西田 恭子さん(一級建築士) リフォームを通じた住生活の傾向やあり方について多くの提言やレポートを発表。新聞や雑誌の取材や講演依頼も多数。

お互いに依存しない 今どきの親子関係

世界有数の長寿国でもある日本。平均寿命も男性が79歳、女性は86歳(2010年度)と、男女とも「人生80年時代」に突入し、多くの親世代が「定年後の暮らし」に高い関心を寄せるようになっていきます。

今の60〜70代の方々は年齢を重ねても自分たちのことは自分でという意識がとても高く、先の生活についても、あまり子どもに依存しない考えをお持ちのように思います。定年後の20年間をいかに快適に暮らすかを考え、そのために必要と

判断すれば、きちんと予算立てをして住宅のリフォームを行う。そんな姿からも子どもに依存せず、できるだけ元気に「我が家で暮らしたい」という、親世代の本音が見えてきます。

「子どもと同居したい」 親世代は年々減少傾向

また、最近は「子どもとの同居を望まない」という親世代も多くなっています。

子ども世代との「別居」を希望する親世代は1969年からの40年間で約25%も増加。子どもに「気を使いたくない」「迷惑をかけたくない」と考える人が多く、子どもから同居を持ちかけられて、逆に戸惑ってしまったり「なんてケースもあります。『将来は親のために同居』と決めてかかるのではなく、様々な選択肢の中から、親子のスタイルにあった住まい方を考えていきましょう。

「近くに住む」

近居・隣居が人気

そんな中、今、人気となっているのが、親と30分程度の時間で行き来できる距離に住まう「近居」や、同じ敷地内に2軒家を建てて住まう「隣居」です。1994年と2007年の住まいの距離を比較すると、敷地内の同居や隣居は約3%、一時間以内の近居は約10%も増加しています。これはお互いが気を使わずに、適度な距離を保ちながら、子どもとの交流も図りたい、共に楽しく暮らしたいという、新たな親子関係のスタイルが確立されてきたということではないかと思えます。

それに伴い、親世代が定年後の生活を見据えてリフォームを行う際にも、自分たちが快適に暮らすためだけでなく「子どもや孫との関わり」を考えたオーダーをされる方が増えています。例えば、左にあげた事例のように、家族全員が集まるこ

とのできる大きなリビングや、一緒に料理ができる対面式のキッチンを設置するなど、子どもたちが訪ねて来た時に一緒に料理し、一緒に食事ができるよう、「家族団欒の時間」を重視したリフォームに人気が集まっているのです。

定年後の20年をいかに 楽しく快適に住まうか

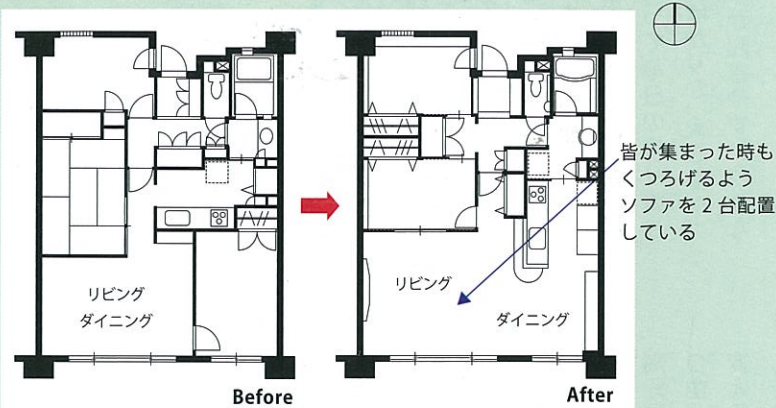
親世代にとって、定年後の20年間はいわゆる「人生の集大成」。子育て

も仕事も一段落し、これから夫婦二人のゆつくりとした時間を楽しみたい、と考える方がほとんどです。ですから、まずは自分たちが快適に暮らすためには何が必要かを考え、その上で子ども世代とどう関わっていくのかを考えます。そんなスタンスの親世代にとって、いざという時はすぐに行き来ができ、それでいてお互いの生活には干渉しない近居・隣居は、自分たちのニーズに合った住まい方のひとつとして認識されてい

るのだと思います。 実際に近居・隣居を始めた方々にお話を伺うと、「むしろ以前より顔を合わせる機会が多くなった」「親子の会話が増えた」など、家族の絆をより深く感じるようになったという声が多いのも印象的です。お互いの生活・自由は守りながら、一緒に過ごす時間も大切に。そんな親と子の「気を使わずに距離感」が、良好な親子関係を築く秘訣のひとつなのかもしれません。

親と息子家族が近所に暮らすケース

東京都：W様邸 マンション



皆が集まった時もくつろげるようソファを2台配置している



<Before>



<After>

リビングダイニングとのコミュニケーションがとりやすいキッチン



<After>

3人掛けのソファが2台置かれたリビング

既存の3LDKから不要な和室を撤去し、2LDKへ。リビングは、夫婦2人のときはもちろん、息子たち家族が集まったときには大人6人がゆったり過ごせるように広く配置しました。

戸建 × 夫婦2人



<Before>

<After>



耐震・断熱・バリアフリー、この3つの性能を大幅に向上。築56年の戸建住宅を現代的な住まいに刷新しました。シニア夫婦の2人住まいにおいて安心な住環境を実現しています。

マンション × シングルライフ

築35年の3DKのマンションを、和室とリビングをつなげ広々としたワンルームに。採光と風通しがさらに改善されました。

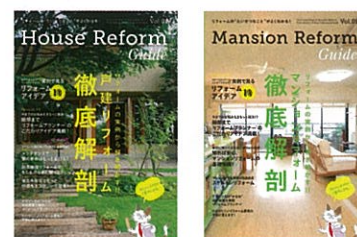


<Before>

<After>



7月14日(土)・15日(日) ブースにてリフォーム相談承ります。



「リフォームがよくわかるリフォームガイド」(マンション・戸建て)をブースにて配布します。

オヤノコト.エキスポ 2012 家のコト

7月14日(土) 13:30-14:30 ミニステージにて

三井のリフォーム住生活研究所所長の西田恭子氏によるセミナーを開催!

テーマは「リフォームで考える安心・快適な“親の住まい”」です。詳細は6ページをご参照ください。皆様のご来場をお待ちしております。